



◎道路愛護に關する諸團體に助成金交付

本會は本年度に於ては道路愛護に關する諸團體中、其の功績顯著にして尙將來に期待し得る團體に對し助成金を交付することとなり、其の推薦方を來十月十五日迄に提出さるる様各地方長官に依頼した。

◎道路功績者の表彰

本會道路功績者表彰規程に依り、左の通り表彰し、關係地方廳に其の傳達方を依頼せり。

△昭和十七年九月二十日

表彰狀

- 同 靜岡縣庵原郡兩河内村道路愛護會
- 同 靜岡縣榛原郡五和村道路愛護會
- 同 靜岡縣志太郡藤枝町道路愛護會
- 同 靜岡縣磐田郡二俣町道路愛護會
- 同 靜岡縣田方郡伊東町伊東西國民學校少年團

同 靜岡縣磐田郡池田村國民學校少年團

表彰狀、一等功績章、三ツ組木杯

- 同 靜岡縣道路工夫 板垣 專 吉
- 同 土屋 孝 一
- 同 勝亦美之作
- 同 深澤 藤 太郎
- 同 梅澤 善 四郎
- 同 下島 長 七
- 同 松本 五郎作
- 同 宮本 由 太郎

◎藤井眞透氏

本會理事土木試驗所長藤井眞透氏は去る八月十九日海軍技師に轉ぜられた。

◎青木楠男氏

藤井土木試驗所長の後任として同所青木楠男氏が九月二十九日同長心得を命ぜられたが、更に九月五日同所長を命ぜられた。

◎新居國土局長視察

内務省新居國土局長は九月十三日午後二時より野田神戸市長、岩崎縣土木部長、富田市港都局長、内務省神戸出張所小野施設部長、同羽賀技師等の案内で神戸港を視察、波の色さへ圖南の基地の活況を呈する港内を一時間半にわたり詳細に視察の後、同三

時五十分より六甲山砂防工事現場を視察し同夜九時五分三宮發で歸東した。

◎ 縣道へ編入

兵庫縣道姫路、北條線中、姫路市野里地域の山王橋附近の道路は頗る狹隘でここを通るバスの運轉は一方ならず、かねて改修方を要望中、いよ／＼今度単人橋の北手から野里驛へ向つて一直線に約百メートル區間を縣道に變更の上、改修することと決定した。總工費一萬數千圓、うち半額は地元負擔として近く着工の運びに至る。

◎ 土方久徴氏

本會評議員元日本銀行總裁貴族院議員土方久徴氏は心臟病のため療養中、八月二十五日午前一時半澁谷區千駄ヶ谷四ノ七六三の自邸で逝去せられた。享年七十三。

◎ 竹内栖鳳氏

帝國藝術院會員竹内栖鳳畫伯(恒吉氏)は、十三年前から自邸としてゐた神奈川縣湯河原町宮上天野屋旅館別荘で病氣療養中、八月二十三日午前六時四十分肺炎で死した。享年七十九。

◎ 獨逸國々土並地方計畫體系 (獨逸國中央計畫叢書)

都市研究會發行に係る「獨逸國々土並地方計畫體系」第一輯はナチス黨定住局の編纂せるものを譯したるものである。由來國土計畫なるものは其計畫を樹つることが我邦の如き國勢の許では非

常に困難なる事業である。而かも之を實行するにも容易に實行し難きものであるは吾人の言を待たない。國家國民の凡ゆる多種多様な政治的、社會的要素の一切を認識し、總括する處の國中央計畫が樹つて、始めて獨逸國土の新建設に對する法則並に方針を指導することが出来る。國中央計畫を爲すには先づ國家行政中に此の大使命を遂行する一機關を設置せねばならぬ。偉大なる政治的、理念と又現在及既成のものを認識することからして、個々の問題に對する法則並に方針は出來るのである。斯る國家全體の爲めに爲された基礎の上に地方計畫は立脚せねばならぬとの方針で、第一卷で國中央計畫院、第二卷で經濟圈及自給自足の段階、第三卷で工業移設、第四卷で立地問題文獻集を説明して居る。我邦では都市計畫として地方計畫の進められておる今日に於ての建直しは中々困難否不可能事であるとさへ考へらるるが、兎に角本書は良き參考書として取扱はれるものである。(巴)

◎ 昭和十五年度直轄工事年報

治水、港灣及道路の改良修築鋪裝等の工事を統計的調査したるもので、其の内道路に付て見れば道路改築の見地に基き交通上最も重要な路線及箇所を選擇して、其改良の効果を充分ならしむるに努め、且工事の施行に關しては凡て政府自ら直營するの方針に出て、新に着工せるものと繼年事業、單年度事業及前年度の繰越に係るものとに區分八十七路線の功程、經費等を集録したもの

である。(四)

◎近刊圖書雜誌 (寄贈交換)

◎大阪商工會議所月報 (第四二三號)

(勝本鼎一氏 〓 新大阪の構想)

◎三田學會雜誌 (五、六月號)

◎水道協會雜誌 (第一一二號)

◎電氣通信學會雜誌 (第二三三三號)

◎セメント界彙報 (第四一四號)

(内田祥文氏 〓 木造家屋外周の防火に關する研究、日本ポルト
ランドセメント同業會小史)

◎大大阪 (九月號)

◎土木工業 (第四卷八號)

(山崎匡輔氏 〓 隧道測量)

◎自警 (七、八月號)

◎土木滿洲 (第二卷七、八月號)

◎科學技術動員 (第一卷二號)

(南方諸地域の研究機關特輯號)

◎斯民 (第三七編八號)

◎全乘礦 (七、八月號)

◎觀光 (第二卷八號)

◎都市問題 (第三五卷二號八月號)

◎警察協會雜誌 (八月號)

◎石油時代 (八月號)

◎汎交通 (八、九月號)

◎河川 (第一卷九號)

◎土木雜誌 (第一八卷八、九號)

◎道路 (第四卷八號)

(三井高陽氏 〓 東亞共榮圈と道路、岸文雄 〓 ゴム道路に就いて、
安藤隆敏氏譯 〓 道路皮床鋪裝としてのラテックスの應用)

◎土木學會雜誌 (第二八卷八號)

(德重正雄氏 〓 道路内鐵矢板拔取跡の處理に付て)

◎昭和六年度試驗調查事項 (年報内務省土木試驗所)

◎港灣 (第二〇卷九號)

◎法律時論 (九月號)

◎鐵道之研究 (九月號、工作特輯號)

× × × × ×

× × × × ×